

六ヶ所

古里

核施設事故シミュレーション —韓国・日本—

2017年

4月28日(金) 14:00-16:30
開場 13:30

会場：衆議院第一議員会館 B1 第四会議室

主催：NPO法人 原子力資料情報室

協力：グリーン・アクション、核情報

資料代：500円（予約不要、講演は日本語です）

Designed by Freepik

福島第一原発事故で放出された放射能が広く世界に拡散したように、原子力災害は国内に留まらない、国際的な問題です。

北東アジアには多くの核施設が存在します。そこで事故が起きたとき、被害はどのような様相を呈するのでしょうか。韓国の古里原発と日本の六ヶ所再処理工場での事故による放出放射能の拡散シミュレーションから、事故の影響を考えます。

講師：カン・ジョンミン

Natural Resources Defense Council（ワシントン DC）の上級研究員。原子力工学博士（東京大学）。専門は、核燃料サイクル、使用済燃料管理、北朝鮮のプルトニウム / HEU 生産。

上澤千尋

1992年より原子力資料情報室のスタッフ。原発事故・工学的安全問題を担当。

お問い合わせ

NPO法人 原子力資料情報室

TEL: 03-3357-3800 / Email: contact@cnic.jp